

問題発見技法 課題 5

【課題】

各グループメンバーの出身県で、最も少ない県を対象に、市区町村のクラスター分析をする。メンバーの出身数が最も少ない都道府県の中から一つの都道府県を選ぶ。

(例：3 人が東京都，3 人が神奈川県，2 人が新潟県，1 人が福島県，1 人が宮城県のグループの場合は，福島県か宮城県の好きな方を選ぶ)

選んだ都道府県について，市町村毎のなんらかのデータを探し，クラスター分析を行う。例を参考にすること。

★ 1 ページ目[表紙]：問題発見技法の課題 5 であることを明記し，各小グループの番号と学籍番号・氏名，および，出身県を載せる（1 人 1 行）。なお，「出身県」の解釈は各個人に委ねる。

★ 2 ページ目 1 行目：実施する都道府県の名前を書く。2 行目以降に，クラスター分析で利用する表を掲載する。表の項目に何を選ぶかは自由だが，4 つ以上にすること。4 つそれぞれの項目について，当該都道府県の市町村をレコードとした表になる。行に市町村，列に項目名を並べた表の形式にし，このページ内に収めること。

★ 3 ページ目：SPSS を用いてクラスター分析を行い，デンドログラムを掲載する。この 1 ページに綺麗に収まるようにすること。例を参照。

★ 4 ページ目：クラスター分析の結果の例として，当該都道府県の地図を掲載する。地図は，インターネットやフリーソフトの白地図を探し，色を塗る。市町村名は記入されていること。1 ページ以内に綺麗に収まるようにすること。なお，樹形図（デンドログラム）のどの値で切ってクラスター化したのかを必ず書くこと。例を参照。

★ 5 ページ目：クラスター分析の結果をふまえて，あなた方が選んだデータから得られた市町村の類似度について考察を行う。グループ一つでよいが，40 文字×20 行以上，1 ページ以内で書くこと。

以上を PDF ファイルに纏めて提出。なお，ファイル名は

「問題発見技法_課題 5_g○-○-○.pdf」

とすること。○にそれぞれのグループ番号（記号）を一つずつ半角英数字で入れ，ハイフン（-）で結ぶこと。

【提出期限・提出先】

★ 提出期限：7 月 20 日（金）18:00 必着

★ 提出宛先：khotta@shonan.bunkyo.ac.jp 宛てに上記作成した Excel ファイルを，グループ毎に 1 つ，メールに添付して提出。その際，メンバー全員に BCC メールを送ると良い。Subject には「問題発見技法 課題 5 グループ○，○，○」と書くこと。

★ 注：課題 5 のグループ作業をするにあたり，評価表を一つ評価者が提出すること。